第10回浜中町農業委員会総会議事録

1. 日 時 平成27年4月30日(木) 午前10時00分

2. 場 所 浜中町役場茶内支所 会議室

3. 出席委員 11名

2番 小田原 憲 一

3番 永 洞 忠 志

4番 穴 吹 栄

5番 白 川 俊 明

6番 新 井 功 仁 恵

8番 嗟 峨 弘 巳

9番 松 家 忠 夫

10番 白 川 英 之

11番 谷 口 正 明

12番 堀 金 澄 恵

13番 梅 原 順 一

4. 出席職員 3名

事務局長 上 田 幸 作

農政係長 酒 井 美 和 子

農地係長 横 山 弘 昭

5. 議 事

日程第 1 総会成立報告

日程第 2 開会

日程第 3 議事録署名委員の指名

日程第 4 会期の決定

日程第 5 会務報告

日程第 6 報告第1号 農地法第3条の3第1項の規定による届出について

日程第 7 報告第2号 農地法第18条の規定による合意解約について

日程第 8 議案第1号 土地の現況証明願について

日程第 9 議案第2号 農地法第3条の規定による許可申請について

日程第10 議案第3号 農用地利用集積計画作成要請について

日程第11 次回総会日程（予定）について

事務局 長

第10回浜中町農業委員会総会の開会に先立ち、御報告申し上げます。
本日の会議の出席委員は、在任委員13名のところ11名の出席であります。
よって、浜中町農業委員会会議規則第8条の規定により、本日の総会が成立しておりますことを、御報告申し上げます。
なお、橋場委員、百々委員につきましては、あらかじめ欠席する旨の連絡がございましたので、御報告申し上げます。
それでは、開会にあたり会長より御挨拶をいただきます。

議 長

おはようございます。
本日は第10回の総会ということで、大変お忙しい中を御出席いただきまして、まことにありがとうございます。
また、農政部会の皆様におかれましては、早朝からの部会に引き続いての総会で大変お疲れでしょうけれども、よろしくお願ひしたいと思います。
また、先ほど挨拶をいただきました横山係長におかれましては、4月1日より中山係長の後任として活動をされておりますけれども、初めての総会ということで、こちらについてもよろしくお願ひいたします。
さて、先般本町の議会議員選挙が終わりましたが、御案内のとおり堀金委員が晴れて議員に当選されました。大変おめでとうございませう。今後委員会活動の方で何かとお世話になろうかと思ひますが、よろしくお願ひを申し上げます。
本日は報告案件2件、協議案件3件を提案しておりますので、よろしく御審議のほどをお願ひいたします。
総会終了後には、第2回の特別委員会が予定されておりますし、午後からは、以前から検討していただいております賃借料についての説明が東山先生の方から予定されておりますので、よろしくお願ひをいたしまして開会にあたっての挨拶に代えさせていただきたいと思ひます。
本日は大変ありがとうございます。

日程第3 議事録署名委員の指名を行います。
本日の会議の議事録署名委員は、浜中町農業委員会会議規則第70条の規定により、議長において、5番白川俊明委員、6番新井委員を指名いたします。

日程第4 会期の決定を議題とします。
本総会の会期は、本日1日としたいと思ひます。これに御異議ございませうか。

各 委 員	(異議なしの声)
議 長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、本総会の会期は、本日 1 日と決定いたしました。</p> <p>日程第 5 会務報告をいたします。事務局より報告させます。</p>
事 務 局 長	(会務報告あるも省略)
議 長	<p>事務局より報告が終わりました。</p> <p>ただ今の会務報告を含め、本日の議案関係以外で質問等があれば、これを受けます。</p>
各 委 員	(なしの声)
議 長	<p>ないようなので、これで、会務報告を終了します。</p> <p>日程第 6 報告第 1 号農地法第 3 条の 3 第 1 項の規定による届出についてを議題とします。提案の理由を事務局より説明させます。</p>
事 務 局 長	<p>報告第 1 号農地法第 3 条の 3 第 1 項の規定による届出について、報告の内容を御説明申し上げます。</p> <p>農地法第 3 条の 3 第 1 項の規定では、「農地又は採草放牧地について、同法第 3 条第 1 項に掲げる権利を取得した者は、農林水産省令で定めるところにより、その農地又は採草放牧地の存する市町村の農業委員会にその旨を届け出なければならない。」とされております。</p> <p>本件は、1 件の届出であります。整理番号 1 の届出人は、浜中町西円朱別西 2 2 線〇〇番地、〇〇〇〇〇氏で、故 〇〇〇〇氏名義の農地について、相続により所有権の取得をしたものでございます。</p> <p>今回の届出により取得した農地は合計〇〇筆で、面積は〇〇万〇, 〇〇〇. 〇〇㎡、権利を取得した日は平成〇〇年〇月〇〇日でございます。土地の詳細につきましては、議案書 3 ページ及び議案関係資料 1 ページに記載しておりますので、御確認いただきたいと思います。</p> <p>以上、本人からの届出に基づき、御報告申し上げますので、御承認くださいますよう、よろしくお願いいたします。</p>

議 長 事務局より提案理由の説明が終わりました。
これから、報告第1号の質疑を行います。質疑ありませんか。

各 委 員 (質疑なしの声)

議 長 質疑なしと認めます。
次に、討論を省略し、採決いたします。
本案は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

各 委 員 (異議なしの声)

議 長 異議なしと認めます。
よって、本案は、原案のとおり承認されました。

日程第7 報告第2号農地法第18条の規定による合意解約についてを議題とします。提案の理由を事務局より説明させます。

事 務 局 長 報告第2号農地法第18条の規定による合意解約について、提案の理由及びその内容を御説明申し上げます。

農地法第18条第1項及び第2項では、「農地又は採草放牧地の賃貸借の当事者は、政令で定めるところにより、都道府県知事の許可を受けなければ、賃貸借の解除、解約の申入れ、合意による解約をしてはならない。ただし、合意による解約が、土地を引き渡すこととなる日より6ヶ月以内前に成立し、その旨が書面において明らかである場合は、この限りでない。」と規定されております。

また、同条第6項の規定では、「その解約が行われた場合には、当事者は農林水産省令で定めるところにより、農業委員会に通知をしなければならない。」とされております。

本案は、西円朱別西22線〇〇番地、〇〇〇〇氏を貸主とする4件の合意解約に係るもので、契約期間は平成〇〇年〇月〇〇日から平成〇〇年〇〇月〇〇日までとなっておりましたが、この度の解約により平成〇〇年〇月〇〇日に土地の引き渡しが行われております。

合意解約の内訳につきましては、整理番号1の借主は、西円朱別西20線〇〇番地、〇〇〇〇氏、対象地は西円朱別西22線〇〇番ほか〇筆、面積は〇万〇、〇〇〇㎡、整理番号2の借主は、西円朱別西26線〇〇番地、〇〇 〇氏、対象

地は西円朱別西 2 2 線〇〇番〇ほか〇〇筆、面積は〇〇万〇, 〇〇〇. 〇〇㎡、整理番号 3 の借主は、西円朱別西 2 4 線〇〇番地、〇〇 〇氏、対象地は西円朱別西 2 2 線〇〇番ほか〇筆、面積は〇〇万〇, 〇〇〇㎡、整理番号 4 の借主は、西円朱別西 2 5 線〇〇番地、〇〇 〇氏、対象地は西円朱別西 2 5 線〇〇番、〇筆、面積は〇万〇, 〇〇〇㎡となっております。

土地の詳細につきましては、議案書 9 ページ及び議案関係資料 2 ページに記載しておりますので、御確認いただきたいと思えます。

以上、本人からの届出に基づき、御報告申し上げますので、御承認くださるよう、よろしくお願いいたします。

議 長

事務局より提案理由の説明が終わりました。
これから、報告第 2 号の質疑を整理番号順に行います。
まず、整理番号 1 について質疑ありませんか。

各 委 員

(質疑なしの声)

議 長

質疑なしと認めます。
次に、整理番号 2 の質疑を行います。質疑ありませんか。

各 委 員

(質疑なしの声)

議 長

質疑なしと認めます。
次に、整理番号 3 の質疑を行います。質疑ありませんか。

各 委 員

(質疑なしの声)

議 長

質疑なしと認めます。
次に、整理番号 4 の質疑を行います。質疑ありませんか。

各 委 員

(質疑なしの声)

議 長

質疑なしと認めます。
次に、討論を省略し、報告第 2 号を整理番号順に採決いたします。
整理番号 1 は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

各 委 員

(異議なしの声)

議 長

異議なしと認めます。

よって、整理番号1は、原案のとおり承認されました。

次に、整理番号2を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

各 委 員

(異議なしの声)

議 長

異議なしと認めます。

よって、整理番号2は、原案のとおり承認されました。

次に、整理番号3を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

各 委 員

(異議なしの声)

議 長

異議なしと認めます。

よって、整理番号3は、原案のとおり承認されました。

次に、整理番号4を採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

各 委 員

(異議なしの声)

議 長

異議なしと認めます。

よって、整理番号4は、原案のとおり承認されました。

日程第8 議案第1号土地の現況証明願についてを議題とします。提案の理由を事務局より説明させます。

事 務 局 長

議案第1号土地の現況証明願について、提案の理由及びその内容を御説明申し上げます。

農業委員会は、土地の現況証明願を受理したときは、北海道農地法関係事務処理要領第8の4の(4)の規定に基づき、「農業委員3名以上で現地を調査して判断するものとし、証明書は必ず総会の審議に付した後に発行すること」とされています。

本案につきましては5件の願い出であります。浜農委27-1号の願い出人は、西円朱別西26線〇〇番地、〇〇〇〇氏、願い出地は西円朱別西26線〇〇番〇、〇筆、面積〇、〇〇〇㎡で、〇〇〇〇〇〇〇として利用するための現況地目の確認であります。現地調査につきましては、白川職務代理、穴吹委員、橋場委員により〇月〇〇日に実施し確認をしておりますが、調査の結果、申請地は作業用地として使用されており、農地・採草放牧地以外であるとの御判断をいただいております。

次に、浜農委27-2号の願い出人は、茶内西10線〇〇〇番地、〇〇〇〇氏、願い出地は茶内西10線〇〇〇番、〇筆、面積〇、〇〇〇㎡で、〇〇〇〇を行うための現況地目の確認であります。現地調査につきましては、白川職務代理、穴吹委員、橋場委員により〇月〇〇日に実施し確認をしておりますが、調査の結果、申請地は住宅に隣接しており、農地として利用されていないため、農地・採草放牧地以外であるとの御判断をいただいております。

次に、浜農委27-3号の願い出人は、熊牛東3線〇〇番地、〇〇〇〇氏、願い出地は熊牛東4線〇〇番〇、〇筆、面積〇万〇、〇〇〇㎡で、この土地は現在、原野化しており、〇〇〇〇を行うための現況地目の確認であります。現地調査につきましては、百々委員、永洞委員、松家委員により〇月〇〇日に実施し確認をしておりますが、調査の結果、申請地は原野化している土地であり、農地として利用されていないため、農地・採草放牧地以外であるとの御判断をいただいております。

次に、浜農委27-4号の願い出人は、姉別緑栄〇〇〇番地、〇〇〇〇氏、願い出地は姉別緑栄〇〇〇番、〇筆、面積〇〇〇、〇〇㎡で、〇〇〇〇を行うための現況地目の確認であります。現地調査につきましては、百々委員、永洞委員、松家委員により〇月〇〇日に実施し確認をしておりますが、調査の結果、申請地は原野化している土地であり、農地として利用されていないため、農地・採草放牧地以外であるとの御判断をいただいております。

次に、浜農委27-5号の願い出人は、榊町〇〇〇番地、〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇の代理人である、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、願い出地は後静〇〇〇番、〇筆、面積〇〇、〇〇〇㎡で、土地の処分に伴う現況地目の確認であります。現地調査につきましては、百々委員、永洞委員、松家委員により〇月〇〇日に実施し確認をしておりますが、調査の結果、申請地は馬の放牧地として使用していた土地であり、農地として利用されていないため、農地・採草放牧地以外であるとの御判断をいただいております。

以上、本案について提案理由の説明を申し上げましたが、詳細につきましては農地係長より説明させますので、よろしく御審議くださるようお願いいたします。

農地係長 (詳細説明あるも省略)

議長 事務局より提案理由の説明が終わりました。
質疑に入る前に、調査に当たった委員の方々から補足があれば、これを受け
ます。調査委員の方々、何かありませんか。
10番白川英之委員。

白川(英)委員 ○○○○さんの件ですが、航空写真を見ると、きれいな草地のように見えるの
ですが、実際はかなり高低差がある地形で、昨年親牛牛舎を増設したことにより
バンカー前が狭くなりまして、D型ハウスの横一体も作業用地と通作道路になっ
ておりますので、写真で見るよりも草地にはなっていないという状況なので補足
して説明しておきます。

議長 他にありませんか。

各委員 (なしの声)

議長 特にないようなので、これから、議案第1号の質疑を、浜農委27-1号から
4号まで順に行います。まず、浜農委27-1号の質疑ありませんか。

各委員 (質疑なしの声)

議長 質疑なしと認めます。
次に、浜農委27-2号の質疑を行います。質疑ありませんか。

各委員 (質疑なしの声)

議長 質疑なしと認めます。
次に、浜農委27-3号の質疑を行います。質疑ありませんか。

各委員 (質疑なしの声)

議長 質疑なしと認めます。
次に、浜農委27-4号の質疑を行います。質疑ありませんか。

各 委 員 (質疑なしの声)

議 長 質疑なしと認めます。
次に、討論を省略し、浜農委 27-1 号から順に採決いたします。
浜農委 27-1 号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

各 委 員 (異議なしの声)

議 長 異議なしと認めます。
よって、浜農委 27-1 号は、原案のとおり可決されました。
次に、浜農委 27-2 号を採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

各 委 員 (異議なしの声)

議 長 異議なしと認めます。
よって、浜農委 27-2 号は、原案のとおり可決されました。
次に、浜農委 27-3 号を採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

各 委 員 (異議なしの声)

議 長 異議なしと認めます。
よって、浜農委 27-3 号は、原案のとおり可決されました。
次に、浜農委 27-4 号を採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

各 委 員 (異議なしの声)

議 長 異議なしと認めます。
よって、浜農委 27-4 号は、原案のとおり可決されました。
次に、浜農委 27-5 号の質疑を行います。本案については、浜中町農業委員会会議規則第 10 条の規定により、〇〇〇〇委員と私が議事参与の制限に該当しますので、ここで退席いたします。その間の議事進行につきましては、白川職

務代理が取り進めますので、よろしくお願いいたします。

(会長、〇〇〇〇委員退席、退室)

職 務 代 理

それでは、引き続き、会議を行います。
これから、浜農委27-5号の質疑を行います。質疑ありませんか。

各 委 員

(質疑なしの声)

職 務 代 理

質疑なしと認めます。
次に、討論を省略し、浜農委27-5号を採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

各 委 員

(異議なしの声)

職 務 代 理

異議なしと認めます。
よって、浜農委27-5号は、原案のとおり可決されました。

(会長、〇〇〇〇委員入室、着席)

議 長

日程第9 議案第1号農地法第3条の規定による許可申請についてを議題と
します。提案の理由を事務局より説明させます。

事 務 局 長

議案第2号農地法第3条の規定による許可申請について、提案の理由及びその
内容を御説明申し上げます。

農地法第3条第1項では、「農地又は採草放牧地について、所有権を移転し、
又は使用貸借権、賃貸借権若しくはその他の使用及び収益を目的とする権利を設
定する場合には、政令で定めるところにより、当事者が農業委員会の許可を受け
なければならない。」とされております。

本案は、賃貸借権の設定に伴う2件の許可申請であります。整理番号1の貸
主は、茶内西3線〇〇〇番地、〇〇〇〇氏、対象地は、茶内西3線〇〇〇番、〇
筆、面積〇万〇、〇〇〇㎡で、この土地を、茶内西2線〇〇〇番地、〇〇〇〇氏
に権利の設定をしようとするものであります。

次に、整理番号2の貸主は、茶内旭1丁目〇〇番地、〇〇〇〇氏、対象地は、
茶内基線〇〇〇番〇ほか〇筆、面積〇〇万〇、〇〇〇㎡で、この土地を、茶内東

1線〇〇番地、〇〇〇〇氏に権利の設定をしようとするものであります。

以上、本案について提案理由の説明を申し上げましたが、詳細につきましては農地係長より説明いたしますので、よろしく御審議くださるようお願いいたします。

なお、本届け出については、議案関係資料の調査書のとおり、農地法第3条第2項各号には該当しないため、許可要件のすべてを満たしておりますことを申し添えいたします。

農地係長 (詳細説明あるも省略)

議長 事務局より提案理由の説明が終わりました。
続いて、地区担当委員より補足説明を受けます。8番嵯峨委員、お願いします。

嵯峨委員 (補足説明あるも省略)

議長 ありがとうございます。
それでは、これから、議案第1号の質疑を整理番号順に行います。
まず、整理番号1について、質疑ありませんか。

各委員 (質疑なしの声)

議長 質疑なしと認めます。
次に、整理番号2の質疑を行います。質疑ありませんか。

各委員 (質疑なしの声)

議長 質疑なしと認めます。
次に、討論を省略し、議案第1号を整理番号順に採決いたします。
整理番号1は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

各委員 (異議なしの声)

議長 異議なしと認めます。
よって、整理番号1は、原案のとおり可決されました。
次に、整理番号2を採決いたします。

農 地 係 長 (詳細説明あるも省略)

議 長 事務局より提案理由の説明が終わりました。
これから、議案第3号の質疑を行います。整理番号1と2については、浜中町農業委員会会議規則第10条の規定により、〇〇〇〇委員が議事参与の制限に該当しますので、退席願います。

(〇〇〇〇委員退席、退室)

それでは、これから、整理番号1の質疑を行います。質疑ありませんか。

各 委 員 (質疑なしの声)

議 長 質疑なしと認めます。
次に、整理番号2の質疑を行います。質疑ありませんか。

各 委 員 (質疑なしの声)

議 長 質疑なしと認めます。
次に、討論を省略し、整理番号1と2を順に採決いたします。
整理番号1は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

各 委 員 (異議なしの声)

議 長 異議なしと認めます。
よって、整理番号1は、原案のとおり可決されました。
次に、整理番号2を採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

各 委 員 (異議なしの声)

議 長 異議なしと認めます。
よって、整理番号2は、原案のとおり可決されました。

(〇〇〇〇委員入室、着席)

次に、整理番号3の質疑に入りますが、本案については、浜中町農業委員会会議規則第10条の規定により、〇〇〇〇委員と私が議事参与の制限に該当しますので、ここで退席いたします。その間の議事進行につきましては、白川職務代理が取り進めますので、よろしくお願いいたします。

(会長、〇〇〇〇委員退席、退室)

職務代理

それでは、引き続き、会議を行います。
これから、整理番号3の質疑を行います。質疑ありませんか。

各委員

(質疑なしの声)

職務代理

質疑なしと認めます。
次に、討論を省略し、整理番号3を採決いたします。
本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

各委員

(異議なしの声)

議長

異議なしと認めます。
よって、整理番号3は、原案のとおり可決されました。

(会長、〇〇〇〇委員入室、着席)

日程第11 次回総会日程についてを議題とします。事務局より提案させます。

事務局長

次回総会日程については、5月25日、月曜日、午前10時からの開催を御提案いたします。

議長

事務局より提案がありましたが、次回総会日程については、5月25日、月曜日、午前10時からということですのでよろしいでしょうか。

各委員

(異議なしの声)

議

長

異議がないようなので、次回総会日程については、5月25日、月曜日、午前10時からに決定いたしました。

以上で、本総会に付議された案件は全部終了いたしました。
これで、第10回浜中町農業委員会総会を終了いたします。
御苦労さまでした。

閉会時刻 午前11時10分

上記会議の顛末を記載し相違なき事を証するため署名捺印する。

浜中町農業委員会 会長 梅原 順一

浜中町農業委員会 5番 白川 俊明

浜中町農業委員会 6番 新井 功仁恵

農地法第3条調査書

調査日：平成27年4月17日

第10回浜中町農業委員会総会

議案第2号 整理番号1 (賃貸借)

譲受人	○ ○ ○ ○	譲渡人	○ ○ ○ ○	作成者	農地係長 横山弘昭
調査員	嗟 峨 委 員				
	判 断 理 由				該 当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受人の経営農地は約〇〇.〇haあり、全て耕作の目的に供されている。保有している機械の能力、労働力等からみて、耕作の事業に供すべき農地等の全てを効率的に利用できる。				しない
第2項第2号 (農業生産法人以外の法人)	農業生産法人以外の法人ではないので該当はしない				しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので該当はしない				しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。				しない
第2項第5号 (下限面積)	下限面積を超えている				しない
第2項第6号 (転貸禁止)	許可申請地に係る農地は譲渡人の所有地であり、転貸には該当しない。				しない
第2項第7号 (地域調和)	申請地は一団の農地であるため、本件の権利取得により周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を及ぼさないものと考えられる。 なお、現地調査については申請後、農業委員1名と事務局1名が現地状況等を確認した。				しない

農地法第3条調査書

調査日：平成27年4月17日

第10回浜中町農業委員会総会

議案第2号 整理番号2 (賃貸借)

譲受人	○ ○ ○ ○	譲渡人	○ ○ ○ ○	作成者	農地係長 横山弘昭
調査員	嗟 峨 委 員				
	判 断 理 由				該 当
第2項第1号 (全部効率利用)	譲受人の経営農地は約〇〇.〇haあり、全て耕作の目的に供されている。保有している機械の能力、労働力等からみて、耕作の事業に供すべき農地等の全てを効率的に利用できる。				しない
第2項第2号 (農業生産法人以外の法人)	農業生産法人以外の法人ではないので該当はしない				しない
第2項第3号 (信託)	信託ではないので該当はしない				しない
第2項第4号 (農作業常時従事)	譲受人は農作業を行う必要がある日数について農作業に従事すると見込まれる。				しない
第2項第5号 (下限面積)	下限面積を超えている				しない
第2項第6号 (転貸禁止)	許可申請地に係る農地は譲渡人の所有地であり、転貸には該当しない。				しない
第2項第7号 (地域調和)	申請地は一団の農地であるため、本件の権利取得により周辺の農地の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を及ぼさないものと考えられる。 なお、現地調査については申請後、農業委員1名と事務局1名が現地状況等を確認した。				しない

農業経営基盤強化促進法第18条第3項調査書

第10回浜中町農業委員会総会

議案第3号 整理番号1 (所有権移転)

譲受人	〇 〇 〇 〇 〇	譲渡人	〇 〇 〇 〇	作成者	農地係長 横山弘昭
法第18条の条項		判断の理由			適合
第3項第1号 (基本構想適合)		農用地利用集積計画内容が基本構想に適合するものと認められる。			する
第3項第2号イ (全部効率利用)		権利が設定・移転される農用地を含む、耕作又は養蓄の事業に供すべき農用地のすべてについて、効率的に利用して耕作又は養蓄の事業を行うことと認められる。			する
第3項第2号ロ (農作業常時従事)		耕作又は養蓄の事業に必要な農作業に常時従事すると認められる。(農業生産法人及び第2項第6号に規定する者は除く)			する
第3項第3号イ (継続的安定的農業経営)		第2項第6号に規定する者である場合は、地域の他の農業者との適切な役割分担の下に継続的・安定的に農業経営を行うと見込まれる。			する
第3項第3号ロ (法人の場合の常時従事)		第2項第6号に規定する者が法人である場合は、その法人の業務を執行する役員のうち1人以上の者がその法人の行う耕作又は養蓄の事業に常時従事すると認められる。			する
第3項第4号 (共有持分の同意)		①利用権の設定等を受ける土地毎に、譲受人と譲渡人のすべての同意が得られている。			—
第3項第4号 (共有持分の1/2を超える同意)		②5年以内の期間を対象とする利用権の設定・移転をする場合であって、当該土地の共有持分(所有権)のうち、所有者である貸人の共有持分の同意が2分の1を超えて得られる。			—

農業経営基盤強化促進法第18条第3項調査書

第10回浜中町農業委員会総会

議案第3号 整理番号2 (所有権移転)

譲受人	○ ○ ○ ○	譲渡人	○ ○ ○ ○ ○	作成者	農地係長 横山弘昭
法第18条の条項	判 断 の 理 由			適 合	
第3項第1号 (基本構想適合)	農用地利用集積計画内容が基本構想に適合するものと認められる。			す ず	
第3項第2号イ (全部効率利用)	権利が設定・移転される農用地を含む、耕作又は養蓄の事業に供すべき農用地のすべてについて、効率的に利用して耕作又は養蓄の事業を行うことと認められる。			す ず	
第3項第2号ロ (農作業常時従事)	耕作又は養蓄の事業に必要な農作業に常時従事すると認められる。(農業生産法人及び第2項第6号に規定する者は除く)			す ず	
第3項第3号イ (継続的安定的農業経営)	第2項第6号に規定する者である場合は、地域の他の農業者との適切な役割分担の下に継続的・安定的に農業経営を行うと見込まれる。			す ず	
第3項第3号ロ (法人の場合の常時従事)	第2項第6号に規定する者が法人である場合は、その法人の業務を執行する役員のうち1人以上の者がその法人の行う耕作又は養蓄の事業に常時従事すると認められる。			す ず	
第3項第4号 (共有持分の同意)	①利用権の設定等を受ける土地毎に、譲受人と譲渡人のすべての同意が得られている。			—	
第3項第4号 (共有持分の1/2を超える同意)	②5年以内の期間を対象とする利用権の設定・移転をする場合であって、当該土地の共有持分(所有権)のうち、所有者である貸人の共有持分の同意が2分の1を超えて得られる。			—	

農業経営基盤強化促進法第18条第3項調査書

第10回浜中町農業委員会総会

議案第3号 整理番号3 (賃貸借)

譲受人	○○○○ ○○○○ ○○○○ ○○○○	譲渡人	○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○ ○○○○	作成者	農地係長 横山弘昭
法第18条の条項		判断の理由			適合
第3項第1号 (基本構想適合)		農用地利用集積計画内容が基本構想に適合するものと認められる。			する
第3項第2号イ (全部効率利用)		権利が設定・移転される農用地を含む、耕作又は養蓄の事業に供すべき農用地のすべてについて、効率的に利用して耕作又は養蓄の事業を行うことと認められる。			する
第3項第2号ロ (農作業常時従事)		耕作又は養蓄の事業に必要な農作業に常時従事すると認められる。(農業生産法人及び第2項第6号に規定する者は除く)			する
第3項第3号イ (継続的安定的農業経営)		第2項第6号に規定する者である場合は、地域の他の農業者との適切な役割分担の下に継続的・安定的に農業経営を行うと見込まれる。			する
第3項第3号ロ (法人の場合の常時従事)		第2項第6号に規定する者が法人である場合は、その法人の業務を執行する役員のうち1人以上の者がその法人の行う耕作又は養蓄の事業に常時従事すると認められる。			する
第3項第4号 (共有持分の同意)		①利用権の設定等を受ける土地毎に、譲受人と譲渡人のすべての同意が得られている。			—
第3項第4号 (共有持分の1/2を超える同意)		②5年以内の期間を対象とする利用権の設定・移転をする場合であって、当該土地の共有持分(所有権)のうち、所有者である貸人の共有持分の同意が2分の1を超えて得られる。			—